

学生大使 実施報告書

氏名:千葉 巧明

学部・学科(コース)・学年:理学部理学科物理学コース

派遣先大学:新モンゴル学園

派遣期間:2/26~3/11

1 日本語教室での活動内容

モンゴルの旧正月(ツアガーンサル)と時期が被ったこともあり、実際に日本語教室での活動は3日間だった。授業形式としては、高校卒業生、高専別科生、工科大学生を対象に中上級レベルの授業を午前、初級レベルの授業を午後に行い、それぞれ一時間半から二時間で活動した。授業の内容としては、プレゼンテーション形式であるテーマについて日本語で授業を行い、私は「山形大学生のキャンパスライフ」と「初めてのツアガーンサル」の内容で発表をした。私は初回の授業の担当だったため、モンゴルの学生たちがどれぐらいの日本語レベルなのか把握しておらず、中上級レベルのクラスでもすべてひらがなでスライドを作成し、ゆっくりと話すことを心掛けて発表したが、実際には学生たちの日本語のレベルは非常に高く、漢字もよく理解している様子だったため、とてもおどろいた。テーマにそって漢字を覚えていくような授業形式にしてもよかったと思った。また、もしそのような授業形式で行う場合は、日本の小学校でもよく行う「空書き」を使って教えるのもよいのではないかと思った。また、これらの日本語クラスのほかに新モンゴル学園の中学生と高校生にも日本語を教える活動を一日だけおこなった。これは、あらかじめモンゴルの学生たちが考えてきた質問を我々日本人学生が答えていくという内容だった。中学生、高校生も日本語のレベルは高くおどろいた。

2 日本語教室以外での交流活動

3/1~3/3 はモンゴルの旧正月(ツアガーンサル)であったため、この三日間はホストファミリーの大勢の親戚の家をまわった。その際にモンゴルの伝統的な衣装であるデールを着てまわるのが決まりで、私はホストファミリーにそのデールをプレゼントしていただいた。特に1日目は7つの親戚の家をまわった。朝の7時に出発して夜の1時に帰ってくるというかなりハードな1日だった。親戚の家に行くと、どの家庭も豪華な食事が用意されており、モンゴルの伝統的な料理を堪能することができた。また、特有の挨拶や作法、乾杯がとても興味深く、刺激的な3日間だった。正月が終わった後は、ホストファミリーの学生とその友達と様々な場所へ遊びに行った。特に印象に残っているのは、自然公園を観光し、乗馬も体験させてもらったことだ。モンゴルの学生たちと学生大使の友達とみんなで行った。自然公園は自然の景色がとても美しく、空気も澄んでいて、素敵な場所だった。その後、ホストファミリーの友達の馬小屋へお邪魔し、乗馬を体験させてもらった。初めての乗馬だったため恐怖もあったが、乗ってみると意外と安定感があり、とても楽しかった。そのほかにも、ほぼ毎日モンゴルの学生たちと様々な場所へ行き、たくさん遊んだ。

3 参加目標への達成度と努力した内容

私はこのプログラムに参加する際に、日本語クラスでは受講生たちが面白いと思ってもらえるような授業をすることを目標としていた。特に「山形大学生のキャンパスライフ」のプレゼンテーションでは、私が所属している剣道部の活動について動画を使いながら紹介した。モンゴルではあまりなじみのないスポーツで、かつ日本の伝統的なスポーツであるため、モンゴルの学生たちにとっては興味深いものであったのではないかなと思う。また日本の「飲み会」についても紹介をした。多くのモンゴルの学生は「飲み会」や「居酒屋」という単語を知っており、実際の写真を見せながら日本の飲み会について楽しく説明をした。全体的にモンゴルの学生たちは楽しそうに参加してくれていたため、いい授業ができたのではないかなと思った。授業の後にはみんなで日本語のしりとりをしたり、モンゴルのゲームを日本語バージョンにして遊んだり、日本語に触れながら楽しむことができた。したがって達成度としてはかなり充実していたと思う。

4 プログラムに参加した感想

モンゴルへ行く前は、会話が通じるのか、授業がしっかりできるか、など様々な不安があった。しかし実際に現地に行ってみると、モンゴルの学生は想像以上に日本語が上手で、意思疎通の問題は何もなく、不自由なく過ごすことができた。授業に関してもモンゴルの学生たちはとても積極的に参加してくれたため、和気あいあいと全員で授業ができたことが良かった。授業をするにあたって、自分が普段から正しい日本語を使うことができていたのかを再確認することや、どうすればわかりやすく日本語を教えられるかを考えさせられる良い機会だった。また、日本語クラス以外の活動で、小学生の英語の授業を見学させていただいたのだが、授業はすべてオールイングリッシュで、レベルの高さに圧倒された。私も英語の学習をさらに頑張らないといけないなと思い、よい刺激になった。それとともに、日本の英語教育に対して改善すべき点などもいくつか思いついた。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

今回たくさんのモンゴル人と交流をして、特にモンゴル人は家族や友達に対して尊敬の心を忘れず、人間関係を大切にしたいととても良い国だと強く感じた。そのことから、自分自身の人間関係や家族への尊敬の心を再確認し、今後さらに大事にしていきたいと思った。また、ほかの国ではどのような文化があるのかを知りたくなった。

さらに、モンゴルの学校は言語教育が素晴らしく、自分自身の英語能力の低さに気付かされ、今後はもっと英語の学習に力を入れていこうと感じた。また、英語の学習方法に関しても、モンゴルで学ぶものがいくつかあったため、いろいろ実践していきたいと思う。

6 現地での活動写真

写真1

日本語クラスのプレゼンテーション



写真2

モンゴルの旧正月 ツァガーンサル



写真 3

みんなで自然公園へ



写真 4

ホストファミリーと相撲対決！ 日本を背負った大一番の勝負

